

コロナ禍の避難所運営は

マニュアル作成し対応



あさの しゅうち 議員
浅野 修一

問 コロナ禍の避難所や避難場所での運営は、これまでとは違ったものとなり得る。
何事にも想定外は付きものだが、町として現状での対応策を問う。

答 徳廣 情報防災課長

風水害時の避難所運営については、感染症対策マニュアルを作成。開設避難所も増やし、密を避けるなどの対策を行う。南海トラフ地震等の大規模災害時には、ほぼ全

町民が避難することとなり、避難所や避難場所は密になることが想定されるが、風水害時の避難でも同様、感染を懸念し、危険な状況でありながら、避難を躊躇することはあつてはならない。命を守る避難を最優先とした行動をとっていただく必要がある。また、日ごろより個人で、マスク、消毒液、体温計等の準備をし、避難した先での感染症拡大防止に努めていただきたい。

問 非接触型体温計等の準備はできているか。

答 徳廣 情報防災課長

町開設の避難所18カ所に非接触式の体温計を整備していく計画。

問 マスクは現在、どれくらい確保しているか。

答 徳廣 情報防災課長

避難所に対して特別にマスク等は準備していないが、健康福祉課の方で約11万枚程度を備蓄している。

問 災害時の対策として高台に住む方に、倉庫等を一時避難場所として提供していただく協力要請を、地域担当制を活用し、推進できないか。

答 徳廣 情報防災課長

避難場所における雨風をしのぐ整備については課題もあり、200カ所を超える全避難場所での対策については、難しい状況にある。そうした現状において、高台にある倉庫等を一時避難場所として利用することについては避難の選択肢を増やすためにも有効と考えるが、地域担当制を活用して一律に推進していくことは難しいと考えている。

子育て支援

保育所待機児童はいないか

現在は定員内で待機なし

問 町内の4保育所に、待機児童はいないか。

答 橋田 教育次長

各保育所とも定員内で、保護者の希望通りの入所となっており、現在待機児童はいない。

問 園児を佐賀から入野へ登所させるという話にはならないと思う。安心して、いつでも預けられるような体制づくりが町の仕事ではないか。

答 橋田 教育次長

厚生労働省が示している利用可能な保育施設として、自宅から通常の交通手段で登所させる時間が、30分以内であれば無理がないとされており、利用定員に達していない保育所をお伝えしている。

問 佐賀保育所の湿気対策は整備できたと聞くが、保育に支障のないものとなっているか。

答 藤本 教育次長

佐賀保育所は平成30年4月に開所。初年度は、6月から7月の梅雨の時期に、壁に結露とカビが

発生したため、9月に除湿器と扇風機を増設し、夜間はそれらを常時運転して、日中はエアコンや窓を開けて換気している。臨機応変の対応をしたことにより、結露とカビの発生は抑えられ、現在支障なく保育運営されていると考える。



谷間にある 町立佐賀保育所